

Dallas, McAllen, Austin, San Antonio, El Paso, Houston

第26回 テキサス州六者交流会



ヒューストンにて開催

パンデミックが治まり、昨年11月にエルパソで講演会・懇親会のみで再開されたテキサス州六者交流会ですが、今年は我がヒューストン日本商工会が幹事となり、11月3日に開催しました。六者交流会とはテキサス州の六都市（ヒューストン、ダラス、サンアントニオ、オースティン、エルパソ、マッカーレン）の日本人会・日本商工会関係者が情報交換並びに懇親を目的に毎年秋に各都市にて持ち回りで開催している会です。もともとは1996年にヒューストン、ダラス、エルパソの三者交流会から始まり、その後2001年にマッカーレン、2003年にサンアントニオとオースティンが加わり、現在に至る歴史あるイベントです。

ヒューストン在住者は、11/2に工場見学をしました。



工場見学

今回の六者交流会の目玉の一つとなったのがダイキンの工場見学で、定員66名を遥かに超える121名の参加となりました。過去にこれだけの人数が工場を訪れた事はなく、ヒューストン組を11月2日に、他都市組を11月3日に振り分ける事で希望者全員が工場見学をする事ができました。事務局からの無理難題を受け入れて頂きました赤間社長に深謝申し上げます。ボーイング、テスラに次ぐ北米3番目の規模を誇り、またIoTのクラウド管理がされた工場で生産される住宅用、業務用空調機器の製造ラインを目にした多くの参加者はその規模に圧倒され、最後まで興奮冷めやらない工場見学となりました。帰りにお土産のびちょくんクッキーを頂き、これにも参加者全員大満足でした。

<交流会のスケジュール>

11月3日(金)

- 11:00-12:00 会場Royal Sonestaにて受付
- 12:00-13:00 ダイキン工場へバス移動
- 13:00-15:30 ダイキン工場見学
- 15:30-16:30 バスで会場ホテルへ
- 16:30-17:30 講演会&懇親会受付
- 17:30-18:30 講演会
- 18:30-21:00 懇親会
- 21:00-21:30 閉会、会場退席完了

ダイキン工場から会場ホテルへバスで到着する参加者



11/3の工場見学には、他地区の参加者が中心に参加しました。



- | | | | | |
|----|-----------------|---------------|--------------------|----------------------------|
| 目次 | 1...六者交流会 | 5...三水会クラブ | 7...補習校工場見学 | 10...テキサスメディカル |
| | 3...寒波に備えて・会社紹介 | 6...日本からアメリカへ | 8...補習校工場見学・バリエ訪問 | 11...Houston Walker・告知・議事録 |
| | 4...生活情報委員会 | 実際に喜ばれた日本のお土産 | 9...駐米日記・JASH BASH | 12...知っとん・告知・編集後記 |



テキサス州六者交流会

続き

講演会

夕方からの懇親会・講演会はThe Royal Sonesta Houston Galleriaで開催され、各都市からの参加者156名並びに運営スタッフ16名の合計172名が出席しました。講演会はJAXAの星出宇宙飛行士にご登壇頂きました。JAXAの業務や有人宇宙活動の説明を頂いた後、国際宇宙ステーションで星出宇宙飛行士が活動された記録ビデオを上映しました。恒例の質問コーナーでは、宇宙飛行士を夢見る参加者家族へのアドバイス、宇宙飛行士の健康管理、トヨタ自動車の参加者からは、スペースシャトル、ソユーズ、スペースXの各宇宙船の乗り心地の比較といったユニークな質問もあがり、大いに盛り上がりました。また、司会の尾根さんからは「流石に宇宙人に関する質問は出なかった」との突っ込みで会場の笑いも取り、名司会の本領を発揮されました。



JAXA 星出宇宙飛行士



司会を務めた尾根氏

懇親会

石川会長による開会の辞に続き、村林在ヒューストン総領事のご挨拶並びに乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。冒頭、石川会長から今回工場見学を受け入れて頂いたダイキンへの謝意を述べて頂くと共に、ヒューストンのお国自慢のプレゼンターに喝を入れて頂きました。村林総領事からは、同じ州内で六都市もの日本商工会メンバーが集うのはテキサス州のみで、全米でテキサスが最も勢いがあるとのコメントを頂きました。束の間の歓談の後、恒例の六都市代表者によるお国自慢です。これは制限時間7分で如何に笑いを取るのかがポイントとなる



石川会長の開会挨拶



村林総領事による乾杯



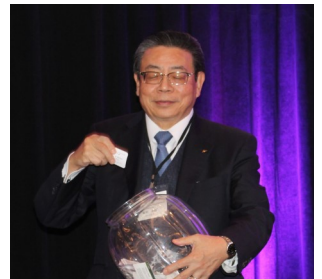
ヒューストンの魅力をPR 尾崎氏



事前抽選の賞品受け取り

抽選会

今回は100近くの賞品を事前抽選し、大型賞品のみ壇上で抽選しました。対象はダイキンの空気清浄機2台、日本航空のマイレージ10万マイル、そして全日空のマイレージ5万マイル 2口で、受付時に各参加者より頂いた名刺をボールに入れ、賞品をご提供頂いた富田会長(ダイキン)、木村支店長(日本航空)、杉本支店長(全日空)がそれぞれ当選札となる名刺をピックされ、当選者が発表されると会場の空気は最高潮となりました。最後に次回開催都市となるダラスへバナーを引き継ぎ、無事に会が終了しました。また、皆様にご協力頂いたアンケートでは、参加者同士が交流する機会が十分にあったことなど、多くの方から高評価を頂きました。



ダイキン 富田会長



日本航空 木村支店長



五十嵐ダラス商工会長(左)と石川会長(右)

賞品を贈呈する全日空杉本支店長と根本氏、嶋田氏



最後に、運営スタッフ総勢16名で臨んだ会の裏には幹事団の9か月に及ぶ綿密な計画と連携があった旨を記載させて頂きます。改めて、共に運営に携わった商工会事務局の皆さん、特命理事を務められた米国三菱重工の尾根さん、近鉄インターナショナルの根本さん、そして各社ボランティアメンバーの皆さんに感謝の意を表します。

(北米三菱商事 嶋田暢一)



運営スタッフ (米国三菱重工、北米三菱商事、近鉄インターナショナル)

寒波に備えて

ヒューストンは冬の到来と共にハリケーンシーズンも終わりを告げ、幸いなことに今年もハリケーンによる被害を受けることなく無事に過ごすことができました。しかしながら、比較的温暖な冬でも寒波の到来による大規模停電、断水といった大きな影響を伴う自然災害が起こる可能性があります。2021年2月には32年振りとなるマイナス9度の寒波が到来し、ここヒューストンでも広範囲地域で数日に亘って停電や断水の影響を受けました。昨年クリスマス寒波により一部で水道管の破裂といった被害が見られました。これから冬が深まるにつれて2年前のような想像を超える寒波が来る可能性もありますので、十分な準備を心掛けて頂きたいと思えます。

2021年にヒューストンを襲った寒波では至る所で凍結により水道管の破裂が発生し、広範囲で断水となりました。また、寒さによる凍結で発電設備の稼働が停止する一方で、暖房のため急激に電力需要が増大し、テキサス州固有の送電網事情も相まって長期間に亘って停電となり、水と電気という重要なライフラインが途絶され、非常に大きな影響をもたらしました。停電の結果、暖をとるためエンジンをかけたまま車内で過したり、屋内で発電機を使用したことにより、多くの人が一酸化炭素中毒になったとされ、さらにはろうそくが原因とされる住宅火災も発生しました。こういった被害を受けてテキサス州では非常事態宣言が発令され、さらに数日後には甚大な被害を支援するために大規模災害宣言も続けて発令されるという事態に至りました。



▲メモリアルにて撮影した当時の風景

停電や断水による大きな影響としては、暖房が使えないことによる厳しい寒さ、不自由な食事、洗い物やトイレ等に必要生活用水の不足、携帯電話の充電、路面凍結による車移動の制限、スーパーやガソリンスタンドの品不足といった点が挙げられます。このような事態に備え、普段から十分な飲料水や食料を確保しておくことはもちろん、寒波が予想される前日には浴槽やバケツに生活用水を貯めておくことも必要です。携帯電話の充電器、洗い物が不要な紙コップや紙皿、懐中電灯、温かい食事を取るための簡易ガスコンロ、防寒服等も必要となります。また車のガソリンを事前に満タンにしておくことも重要です。

ゴルフストリームでは2021年の寒波の際に寒波特集を組んでおり、[安全危機管理ページ](#)からお役立ちサイトやアプリを記載したバックナンバー、商工会の会員様向けに実施したアンケート等も掲載されていますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

また、寒波の話からは逸れますが、車に関するヒューストン特有の事情として、冬のタイヤ空気圧の低下があります。以下の警告はタイヤ空気圧が減少していることを示しています。夏と比較して空気圧が2〜3割ほど低くなる場合がありますので、事故防止と燃費改善の観点から、ガソリンスタンドや車ディーラー、タイヤショップ等で空気圧をご確認の上、必要な空気を注入して頂ければと思います。
(特命理事 竹原優)



会社紹介

Idemitsu Americas Holdings Corporation

正団体会員 代表 大村 雄一朗 さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Idemitsu Americas Holdingsは、石油事業を主にする出光興産グループの子会社で、カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、米州における複数の事業子会社を統括する会社となっております。脱炭素の潮流の中で、新エネルギー関連を中心に事業開発やスタートアップへの投資を含む新事業探索を行っておりますが、エネルギー産業の中心地であるヒューストンに、本年夏より新たな支店を開設し活動を開始しました。

エネルギー会社なのにヒューストンに拠点になかったの？とよく驚かれますが、正確には二十数年前に拠点を閉鎖して以来の復活です。現時点では私を含めてまだ2名のみの拠点で、オフィス探しも含めたゼロスタートですが、商工会、日本人会をはじめ、多くの皆様に様々な情報やご支援を頂き、お蔭様で順調に活動できております。この場をお借りして御礼申し上げます。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

赴任前に周囲からテキサスは暑くて死ぬぞと散々脅されていたので覚悟はしていたものの、7月末に日本からヒューストンに到着し、空港から出た瞬間の暑さには開口してしまいました。イタリアングレーハウンドという短毛で暑さに強い愛犬を日本から連れてきたのですが、日本の真夏でも2、3時間は平気で走り回っていた子が、15分もすれば限界となり、家に引張って帰らざるくらいです。この犬種は、ヒューストンではあまり見かけな

いせいか、犬の散歩をしていると、わざわざ車を停めて話しかけてこられる方もいらっしゃって、テキサス人のフレンドリーさを実感します。最近ヒューストンに来たという話をすると、熱心におすすめレストランやスポットを教えてください、外国人にも非常に寛容かつフレンドリーな街だなという印象です。日本では考えられないくらい大きなドッグパークもあり、ドッグパークでの新たな出会いも楽しみの一つになっています。皆さんに今年の気温は異常だからと励まされながら、ようやく長い夏も終わり、過ごしやすい季節になってきました。徐々に生活も落ち着きつつあるので、少し郊外にも足を延ばしてテキサスを楽しみたいと思っています。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

イタリアングレーハウンドは犬のF1カーと呼ばれるほど、小型犬でありながらも足が速く、運動神経に優れた犬種です。日本でも、ルアーコーシングという疑似餌を追いかけてスピードを競う競技や、frisbeeドッグ大会などにも出場していたので、ドッグスポーツの本場であるアメリカで、いずれ大会に出場してみたいと思っています。我が家は妻も含めて犬中心の生活をしておりますので、犬を飼われている/いないに関わらず、犬好きの方やドッグスポーツに興味がある方がいらっしゃいましたらぜひお声がけいただければ幸いです。



生活情報委員会 ～ミーティング&活動紹介～

ヒューストンならではの特色を活かしたコミセン型の活動をしているのが生活・情報委員会です。ボランティアの皆さんが、日々、三水会センター拠点として会員のご家族、そして現地コミュニティの皆様も対象にした様々な草の根の活動を展開しています。同委員会傘下の活動は、以下を含みます。

- ショーイング・ジャパン ●図書館&古本市 ●お助けマップ ●ピーカンキッズ(読み聞かせの会、あそぼーかい) ●三水会クラブ

ヒューストンに来られたばかりでこちらの生活を立ち上げるために情報が必要な方、当地でボランティアをして色々な方々と繋がりたい方、どなたでも参加したりボランティアができるプログラムがあります。ガルフストリームでは、12月号と1月号の二号にわたり、同委員会傘下の活動を紹介します。(編集部)

クロスアップ! 道具やノウハウを有効活用して、もっとオープンな環境へ

生活・情報委員会の合同会議を11月14日(木)に、商工会事務局三水会センターの会議室にて開催いたしました。「お助けマップ」、「あそぼーかい」、「絵本読み聞かせの会」の3つのボランティア活動を展開してきた生活・情報委員会ですが、本年度より新たに「三水会クラブ」、「ショーイング・ジャパン」が正式に活動傘下の一員に加わりました。前回の合同会議で実感したのは、各活動の情報を共有することで得られるメリットでした。ひとつの活動でしか活躍してこなかった道具は、他の活動でも有効活用されるようになりました。これまでは、ボランティアはひとつのグループに所属して活動に参加してきましたが、本年度からはそれぞれがもつノウハウを広く活かせるよう、自由に複数の活動に参加していくことが提案されました。以前は合同会議の出席者は各活動のリーダー、商工会事務局スタッフのみでしたが、今回は各活動のボランティア全員に参加者を募り、前年度の活動報告、今後の活動予定、課題を発表しました。ボランティアに関心のある方、ご意見・ご要望などございましたら、是非商工会事務局までお問い合わせください。



(生活・情報委員長 根本真樹子)



お助けマップ



読み聞かせの会



あそぼーかい



三水会クラブ

商工会事務局 sansuikai@jbahouston.org

SHOWING JAPAN



ショーイング・ジャパン (Showing Japan) は茶道、書道、琴の演奏、折り紙、浴衣や着物の着付け、紙芝居など各種日本文化のデモンストレーションを通じて、ヒューストン地域の方々へ日本の文化を紹介する活動を行っています。あなたもヒューストン地域の方々との交流を楽しんでみませんか?



お問い合わせ: houstonshowingjapan@gmail.com

Instagram: <https://www.instagram.com/showingjapanhouston/>

図書館 古本市



三水会センター図書館 (開館日時: 火曜日～土曜日 9:00～12:00, 13:00～17:00)

図書館には赤ちゃん向けの本から小説や実用書、漫画、雑誌等々、広いジャンルの本が約3万冊取り揃えてあり、商工会会員や補習校生徒には無料で本の貸し出しをしています。毎年購入する雑誌や新刊のほかに、皆様からのご寄付によってより充実した図書館になっており、多くのボランティアがカウンター業務をサポートしてくださっています。館内には座って本を読むことができる椅子やソファなどがあり、キッズルームでは、読み聞かせの会、あそぼーかいといった小さいお子さんが楽しめる会が開催されています。

古本市

年に2回開催する古本市は、大人気のイベントです。生活情報委員会のボランティアをはじめとして、日本語を勉強している現地の方などバリエーションに富んだボランティアに支えられながら盛況のうちに開催しております。売り上げは図書館の本の購入や生活情報委員会の活動資金に充てさせていただきます。



Back to School 第2弾:現地校が始まったのはいいけれど…

9月の三水会クラブは、「Back to School 第2弾:現地校が始まったのはいいけれど…」と題して、ヒューストンで新生活を始めた方々を対象にメンタルヘルスのお話をさせていただきました。

お話しさせていただいた内容を、以下のようにまとめました。

1.セルフケアを忘れずに。

参加いただいたのは2名を除いて全員お母さん。異国で働き出した夫と学校に通い出した子を支えなければ、とご自分のことは後回しにして頑張りすぎてしまっているかも。異文化での慣れない生活を始めたのは妻も一緒。飛行機の緊急時と一緒に、まずご自分に酸素マスクをしてから他の搭乗者にマスクをしましょう。ご自分を労る気持ちを忘れずに。

2.気持ちをまずは認めてあげる。

例えば、お子さんが「今日は学校行きたくない」と言った時。「何言ってるの?」ではなく、「学校、行きたくないんだ。」と本人が言ったことをそのまま受け止めてあげましょう。この、まずは認めてあげる、ということが大事です。学校を理由なく休むということは良いことではないかもしれませんが、行きたくない、と思う気持ち自体は決して悪いことではありません。学校や会社に行きたくないと思うのは、人間誰もが持つ普通の気持ちです。

3.家族で問題を解決できない時は、しかるべき所へ助けを求める。

お子さんが何かでつまづいている時、例えば不登校が続くなどした場合は、両親で協力して解決する道を探る。それでもうまくいかない場合は、学校へ相談。体調不良もある場合はかかりつけの医師にも相談。問題が精神的なものである、と疑われた場合は学校・医師経由で精神科医・心理カウンセラーなどを紹介してもらい、専門家とともにお子さんを支えていきましょう。

4.居心地の良い場所を複数持つ。

安心できる家庭、通うことが楽しく思える学校、課外活動(スポーツ、音楽、ボランティアなど)、近所の仲良しさんなど、自分を受け入れてくれる場所を複数持つていれば、もし一つの場所で上手くいかなくても何とかなるものです。



自分を受け入れてくれる場所を複数持つていれば、もし一つの場所で上手くいかなくても何とかなるものです。

5.諦めることも大事。

駐在員家族として海外で暮らすということは、慣れた言葉や環境から離れて難しい環境で暮らすということです。何か挑戦して成功したらラッキーくらいの気持ちでいることも大事。また、お子さんに過度の期待はせずに、自分の子供を一人の人間として尊重しつつ、できるだけサポートをするというのが望ましいです。

講演後、お子さんの年齢毎に分かれて座って頂き、私も皆さんのお話に加わりました。皆さん自身も異文化に戸惑いながら生活しているのに、お子さんのサポートを更にしなければならず、アメリカの慣習にも詳しくなく困っているという状況のようでした。また、お父さんが本当に忙しくてワンオペ状態、という方も多くいらっしゃるような印象を受けました。もし、これを読んでいるお父さんで身に覚えのある方がいらっしゃいましたら、ぜひ考え直していただきたいことがあります。

子育ては、お母さんだけの仕事ではありません。お子さんとご自身の関係を良いものにしたいと思うのであれば、ぜひ、お子さんと過ごす時間を意識的に増やしてみてください。母と子の関係、父と子の関係はそれぞれ両者によって培われるものです。もし、お子さんとの時間を疎かにして、お子さんとの関係がうまくいかなくなってしまってもその責任は親であるあなたにあります。特にお父さんに伝えたいことですが、長時間一緒に過ごしているお母さんも例外ではありません。短時間でも、真剣にお子さんに向き合う時間を持っていますか。

1週間に30分だけでも、お子さんと一対一で過ごすことは可能でしょうか。これは、「One-on-One Time」(文字通り一対一の時間)と言って、小さいお子さんをお持ちの方には特に大事な時間となります。この30分だけは、お子さんに主導権を持たせて、タブレットやスマホは一切使用しない遊びをします。お勧めするのは、外で体を動かすような遊びよりも、室内で遊ぶボードゲームのようなものです。「この時間は、あなた(子)がリーダーだよ」ということを伝え、お子さんの好きなように遊びます。お子さんがルールを決めて、親はそれに従います。30分という短い時間ですが、お子さんとの時間に集中してみてください。お子さんが複数人いらっしゃる場合は、それぞれに30分時間を作ってみてください。長時間一緒に過ごすということが重要なわけではありません。質の高い、真剣にお子さんに向き合う短い時間を作ることが大切です。このような地道な関わり方が、お子さんとの良い関係を培っていきますので、ぜひ試してみてください。



講師：小島理絵

テキサス州認定心理カウンセラー。ヒューストン・ハイツにあるメンドセンター(The MendCenter)の常勤スタッフクリニックとして治療をする傍ら個人開業でセラピーも行う。

話の聞き方: A-C-T Limit Setting

- Acknowledge the feelings, wishes, and wants (気持ちや願望を認めてあげる)
 - Communicate the limit (やめてはいけない行動を告げる)
 - Target acceptable alternatives (代わりにできることを提案)
- (Garry Landreth, Play Therapy, page 273)

気持ちの受け止め方:RAIN: A Practice of Radical Compassion

- Recognize what is happening (何を感じているか・経験しているか認識する)
 - Allow the experience to be there, just as it is; (認識したことを否定せず、そのまま受け止める)
 - Investigate with interest and care; (恐れず、その事柄に近づいてみる)
 - Nurture with self-compassion (思いやりを自分に持ちながら、その事柄を慈しむ)
- (Tara Brach, Radical Compassion)

役立つ情報

- [ヒューストン日本商工会](#):生活情報:ヒューストンお助けマップ
- [テキサス州現地校 学校用語集 2023年11月改訂版](#) (お助けマップHP内)
- [在ヒューストン日本国総領事館](#)
- [DV関連の問題\(離婚、この親権等\)に関する相談窓口](#) (日本語)
- [BB360](#) (ヒューストン在住の日本人出産ドゥーラお二人が主宰するサポートグループ)
- [海外こころのヘルプデスク24時](#) (海外在住者が日本語で話せるオンライン上の相談デスク)
- [Child Mind Institute](#) (子供のメンタルヘルス情報全般。英語・スペイン語のみ)
- [Crisis Intervention Houston](#) (精神的に辛い時に助けてくれる団体。英語のみ) 電話番号832.416.1177 Teen: 832.416.119 (call)| Teen: 281.201.4430 (text)
- [Mental Health America of Greater Houston](#) (ヒューストンのメンタルヘルスホットライン情報全般。英語のみ)
- [findhelp](#) (zipコードで様々なサポート情報を得られる。英語のみ)

★7月25日に開催したBack to School第1弾の記事は[こちら](#)。



日本からアメリカへ 実際に喜ばれた “ちょっと良い”日本のお土産

サンクスギビングが過ぎ、クリスマスの雰囲気がかかしている今日この頃。この年末年始に一時帰国を計画されている方も多いことと思います。アメリカはお土産文化が無いとは言いますが、日頃お世話になっている方に何か渡したいとお考えの方もいらっしゃるのではないでしょうか。今回は筆者の経験から、アメリカの方を中心に、一時帰国後に喜ばれた“ちょっと良い”日本のお土産を紹介いたします。

冒頭でも触れた通り、アメリカではお土産を贈るといふ風習は一般的ではないと聞きます。真偽のほどは定かではありませんが、背景を紐解くと、地方ならではのお土産があまりない事に加え、食習慣や信仰の多様性なども相まって食べ物や渡すという習慣が根付いていない、という説もあるそうです。他方、食べ物ではなく旅行先のキーホルダーやマグカップなどの「モノ」を渡すという習慣はあるとの話も耳にしました。そのような背景は承知していたものの、昨年我が家では、一時帰国後に娘の誕生日会を控えていたことから、参加くださるご家族やお力添えくださる先生方へのお礼も兼ねて、日本のお菓子を“small gift”として渡したいと考えた次第でした。

用意するにあたり心掛けたことは以下の4点です。

1. 個包装であること
2. 賞味期限が長いこと
3. アメリカの方にも馴染みのある原材料や食感であること
4. どのようなものであるか説明がしやすいこと

3点目および4点目については、誰も未知の食べ物には手を伸ばしづらいものです。また、万が一アレルギー食材が含まれていた場合、事前に知ることなく口にしてしまっただけでは大事に至りかねません。そのような理由から上記4点を念頭において選んで、実際に喜んでいただけた日本のお土産は以下です。

1. 鎌倉紅屋 クルミッ子

柔らかなキャラメルに胡桃がぎっしり詰め込まれ、クッキーでサンドされた一口サイズのお菓子です。公式通販および全国各地の百貨店で入手可能です。後を引く美味しさとサクサクの触感が大変好評でした。ただし材料に胡桃が含まれるので、お渡しする際はその点にご留意ください(※アメリカはナッツアレルギーの方が多いとされています)。

2. 鼓月 千寿せんべい

「せんべい」との名称ですが、実際は波型のクッキー生地、風味豊かなシュガークリームがサンドされた一品です。サクサクした触感とクリームとの相性、和紙が織り込まれた個包装も好評でした。日本の古都、京都のお菓子であるというのもポイントかもしれません。こちらも公式通販および百貨店で入手可能です。

3. 志満秀 クアトロえびチーズ

薄焼きのカラフルな海老せんべいに、4種類のチーズクリームがサンドされた一品です。味の良さはもちろん見た目にも美しく喜ばれました。こちらも公式通販もしくは百貨店で入手可能です。ただ、非常に割れやすいため、取り扱いに注意いただくか多めに用意されることをお勧めします。

こうして選んだ品々を、当日はGoody Bagとして小分け袋に入れました。お渡しする直前まで、果たして喜んでいただけるだろうか、迷惑ではないだろうか、あるいは私の自己満足になってはいないだろうか・・・など様々な思いが脳裏を掠めました。しかし実際は、「思いがけないささやかな贈り物！」と皆さん喜んでくださり、お土産を話題に会話も弾み、親交を深める良いきっかけとなりました。実にアメリカらしいと思ったのは、その場で開封し早速試してくださる方が大半であったこと。どなたも、「日本のお菓子はこんなに美味しいのか！」と驚き絶賛くださいました。子どもたちへのGoody Bagには、日本製の柔らかい食感のグミや折り紙で作った手裏剣も忍ばせてありましたが、お友達やそのご家族、先生方に喜んでいただけた事を通じて娘が嬉しそうにしていた事が、私にとっては何より深く心に刻まれています。



なお、今回紹介したお土産以外にも、石屋製菓の白い恋人や、ポテトファーム(カルビー)のじゃがポックル、ヨックモックのシガールなどは、空港でも入手しやすくアメリカでの人気も非常に高いと聞きます。また、お菓子ではありませんが、花王のめぐりズム 蒸気でホットアイマスクを数名のアメリカ人の友人へ配ったところ、これも大変喜ばれました。

お土産が親交を深めるきっかけとなり、わずかながら日本を知ってもらえる事に繋がるのは、とても嬉しいものです。皆さんの周りでも、このお土産が喜んでいただけた！コミュニケーションの一助となった！などの体験談がありましたら、是非ガルフストリーム編集委員までお寄せください。

(編集委員 井上彩乃)





東芝インターナショナル米国社

11月4日(土)、ヒューストン日本語補習校の中学部2年生16名の生徒と引率の先生方が、工場見学のため、弊社、東芝インターナショナル米国社を訪れました。

1973年にこの地で事業を開始して以来、弊社では産業用のモータやそれを制御するインバータ、無停電電源装置をはじめ、社会を支える様々な製品をつくってきました。今回の見学では、弊社の主力製品のひとつである車載用モータをテーマに、モータの仕組みや製造工程などを学んでいただきました。

当日は、夏が戻ってきたような陽気の中、スクールバスに乗って補習校のみなさんが到着されました。まずは講堂での座学です。弊社概要、モータの仕組みに加え、モノづくりの考え方についても学んでいただきました。生徒の皆さんにも参加いただいたモータ模型の動作実験では、和やかな雰囲気の中にも、真剣に考え、観察する姿が見られました。

見学タイムでは、弊社製品のショールーム、車載用モータの製造ライン、弊社モータが搭載されているハイブリッド自動車を見学いただきました。製造ラインでは安全メガネを着用いただいたの見学です。車載モータでは、車載品質の維持と量産速度の確保のために、多くの自動機を導入しています。ずらりと並んだ機械と作業員が連携し、テンポよく製品が組み立てられていく様子に、生徒の皆さんも驚かれた様子でした。中には、素早く製品を組み立てていくロボットの動きに魅了されたのか、「これ、欲しい!」という生徒さんも。自ずと見学にも力が入り、時にメモを取りつつ、熱心に説明員の言葉に耳を傾けてくださいました。

見学タイムの後には、講堂に戻り、質疑応答の時間を取らせていただき

ました。たくさんの質問をいただきましたが、「設計を他社に真似されてしまわないのか?」など、知財管理、品質、工場運営など、重要ポイントに関する鋭い質問が多く、生徒の皆さんの着眼点の良さに驚かされました。答える側の私たちの気持ちも引き締まり、少し緊張しながらの質疑応答タイムとなりました。

最後には生徒の皆さんからお礼の言葉をいただきました。立派な見学レポートを作成するとの決意表明もいただき、私たちとしても嬉しく、また頼もしく感じました。記念撮影での皆さんの笑顔が、有意義な時間を過ごしていただけたことの何よりの証であると信じております。

「人と、地球の、明日のために。」私たち東芝の経営理念です。今回の工場見学を通じて感じていただいたことが、生徒の皆様明日に繋がる一助となりましたら幸いです。様々な経験を通して、皆様一人一人が、地球という大きな社会へ貢献する存在へと成長されることを期待しております。
(東芝インターナショナル米国社 磯野 太施)



ダイキン工業株式会社グループ

11月11日(土)にヒューストン日本語補習校の小学3年生がダイキングループ弊社工場(以下、ダイキン)に来訪しました。ダイキンは、ヒューストン中心部から30分ほどのWaller市にあり、土地面積約200万㎡、延床面積は37.3万㎡で、工場としては北米第3位の大きさです。

最初にオーディトリウムで会社概要やエアコンについての説明を行いました。その後、3グループに分かれて安全道場、工場、商品ショールームを順番に見学してもらいました。

安全道場とは、実演を通じて一人一人の安全意識を高めるための施設です。

特に好評だったのが、ヘルメットの有効性の実演(植木鉢に上から鉄の玉を落とす実験)でした。ヘルメットをかぶせた植木鉢は壊れませんが、かぶせていない植木鉢はバラバラになります。目の前で大きな音をたてて植木鉢が壊れるのを見てもらい、「例えば自転車に乗って転んだとき、ヘルメットをした状態としないときでは、こんなに頭への衝撃が違うんだよ。」と説明しました。実験を目の前で見る事で、身体を守るための装備の大切さを理解でき、安全の大切さを体験してもらえたと思います。

続いて、カートに乗ってエアコンの室外機を作る組立ラインと、完成した商品を保管している倉庫を紹介しました。

組立ラインでは、無人の部品搬送車と部品取付け用ロボットの説明をしました。ロボットと人が仕事を分担してエアコンを組立てる様子に子供達は興味津々で、「(ロボットが)動いてる!」と感動した様子でした。倉庫では、直線距離950mの通路を紹介。「広い!」「こんな大きい倉庫が埋まるほどエアコンを作ってるの!？」と驚きの声があがりました。

ショールームでは、まずエアコンをお客様にお届けするまでには沢山の人の力が必要なことを説明しました。その後、展示された商品を見せなが

ら、エアコンの構成や、アメリカと日本ではエアコンの見た目が違うことなどについて説明しました。また、稼働中の室外機の音を体験してもらい、動いているかどうか分からないぐらい静かな作動音に子供たちは驚いていました。

オーディトリウムに戻っての質疑応答では、エアコンに使われる部品の数や工場で作っているエアコンの機種数など、具体的に鋭い質問が続々と飛んで来て、さすがの専門家たちもタジタジになりました。

この工場見学を通してエアコンをより身近に感じていただけたと共に、たくさんの小さい部品からエアコンができていくこと、身の回りの現象を活用してつくられていることに興味を持ってもらえたと思います。子供達がモノづくりへの興味を深め、学ぶことの面白さをより感じるきっかけとなれば幸いです。
(ダイキン補習校見学会事務局)



クラレアメリカ

11月11日(土)、ヒューストン日本語補習校の4年生40名と先生方がクラレアメリカに来訪されました。

本年は化学プロセスを児童たちにより理解頂くため、近隣化学工場のトレーニング施設にもなっているSan Jacinto Collegeの施設にて、施設見学と化学実験を行いました。

社会科学見学は、諸注意とクラレについての簡単な説明からスタート。普段は製品自体の影に隠れがちな“素材”がどのように生活に役立っているか、また弊社で伝統的に行っている『ランドセルは海を越えて』などのボランティアイベントなどを紹介し、児童たちにも弊社を身近に感じて頂けたのではないかと思います。

次に、各自保護具を着用した上で、弊社のエンジニアおよびCollegeのボランティアの皆さん同行のもと、College内の設備見学へ出発しました。College内には化学工場を小規模にした設備が多数あり、エンジニアの説明の元、子供たちがそれら展示の装置に直接触れたり(安全なもの)、ガラス製の装置からなるプロセスを液体が駆け巡る様子をメモを取りながら興味深そうに見ている姿が印象的でした。



見学後は、実験パートに移りました。1つ目の実験は、活性炭を利用した脱色実験です。今回2つの細孔(穴)の大きさが違う活性炭(粉)を用意し、色水から色素を取る実験を行いました。色水にこの“魔法の粉”を入れることにより、色水が透明になっていく様子を見て、児童たちの「わー！」という驚きの声を沢山聴くことができました。また見た目は同じでも、活性炭の種類の違いにより取れる色素が異なるという“不思議”な体験をしてもらいました。

2つ目の実験は、水に溶けるフィルムを利用した「スーパーボールすくい」です。このフィルムは、Tide PODSなどの洗濯用洗剤や食洗器洗剤の包装として使用されています。児童たちに、溶けやすさの異なるフィルムを張った2種類のすくい網を渡し、20秒間でどちらが多くスーパーボールを取れるか挑戦してもらいました。子ども達は、1つでも多く取ろうと、開始の合図とともに素早くすくいだし、非常に熱中していました。

今回短い時間ではありましたが、この社会科学見学を通し、児童たちに化学の奥深さをお届けできたのではないかと思います。この社会科学見学が、児童たちの理科への興味を深め、学ぶことの面白さを感じる一助となれば幸いです。
(クラレアメリカ 鈴木孝生)

ヒューストンバレエ 舞台裏見学記

11月11日、ヒューストン日本語補習校中学部3年16名と高等部30名の生徒たち、教員3名と松崎運営副委員長は、加治屋百合子さんがプリンシパルのダンサーとして所属されているヒューストンバレエに行ってみりました。今回は、年末恒例の「くろみ割り人形」の公演を控えたご多忙中にもかかわらず、加治屋さんのご厚意で、補習校にとって初めてのバレエ団舞台裏見学が実現しました。

補習校生徒たちは、最初に1階のホールに案内され、ヒューストンバレエの概要を説明してもらったあと、中3と高校生の手に分かれていよいよ建物の上階へ。

まずスミスストリートの上をまたいでWortham Theaterに架かる2階の渡り廊下を見学し、衣裳部屋へと移動しました。部屋の奥の方までびっしり並んだ棚には、箱が天井まで整然と積み上げられています。壁側には大手手

芸店顔負けのロールになった布が山と積み上げられ、ひとつひとつの布には、どの作品の誰の衣装に使った布かがわかるようにタグが付いています。素敵な舞台衣装が吊るされた衣装ラックの間を縫って進むと、大きな作業机が所狭しとおかれた広い部屋に行きつきました。外壁側がガラス張りである、数人のお針子さんが楽しそうに作業をしていました。遠くからでは見えないような小さい花やレースやビーズなども、一つ一つ丁寧に手作業で縫い付けるそうです。

そのあと、廊下からレッスンの様子を拝見していると、加治屋さんがいらして解説してくださいました。補習校生徒のためにご自分のレッスンを中断してきてくださったそうです。建物内の見学がひと通り終わり、いよいよ加治屋さんのお話と質疑応答の時間になりました。上海のバレエ学校やカナダのバレエ団、ニューヨークのバレエ団を経て、10年前にヒューストンにいらした経緯や、バレエ以外にも、補習校生徒との共通点として、語学を身に付ける重要性もお話してくださいました。生徒たちからは、バレエに関係することもしないことも質問が出ましたが、どの生徒にも丁寧にわかりやすくお答えくださいました。

舞台の上で華やかに優雅に踊っているダンサーの陰には、日々の厳しいレッスンと、そのレッスンや舞台を支える3倍の数のスタッフがいます。見学に参加した生徒の中には、まだ一度もヒューストンバレエの公演を見たことがないという生徒もいましたが、舞台裏を見て、トップダンサーのお話を聞いた後に、公演を実際に観ればこの見学は完結です。また、加治屋さんのお話から語学やその道を究めることの大切さなどの気づきを得た生徒も多かったようです。このような素晴らしい機会をくださった加治屋さんとヒューストンバレエのスタッフの皆様にご感謝いたします。ありがとうございました。

(ヒューストン日本語補習校 中学部3年担任 佐藤暁子)



駐妻のヒューストン日記

第230回 千葉紀久子さん

1年目の戸惑い

わが家は1年前にヒューストンに引っ越してきて、2人の息子は現地校(Kinderと2nd Grade)に入りました。最初の半年間、英語が話せないためか、特に長男は昼休みに友達から「Go Away!」と言われ、仲間に入れてもらえず、一人ぼっちでグラウンドの椅子に座ってやり過ごす日々が続きました。私にできることは、子供たちに英語のTutorやオンラインレッスン、放課後のクラスメートとのプレイデートなどを入れて、とにかく英会話に慣れる時間を作り、早く友達との意思疎通ができるようにサポートすることだけでした。そうして1年目が終わる頃には努力が筋トレのようにじわじわ効いたようで、現地校で英語を全く発しなかった次男も、友達とグラグラと笑っておしゃべりできるようになり、長男も「Go Away!」と言われた友達の家と一緒にプールに飛び込むような温かい関係が築けるようになりました。

2年目で気づいたこと

私にはわからなかったことがありました。どうやったら子供達が親友を作れるのか。日本では保育園や学童で長く時間を共有する友達があり、遊ぶ中で自然に親しい友達ができていました。しかしヒューストンでは、子供達が幼児から小学生に成長し自ら人間関係をつくる年齢になったこともあり、現地校に通ったり、公園で遊んだり、習い事でサッカーに通っても、友達が増えたり劇的に仲が深まる様子はなく、どうすればもっと友達と充実した時間を過ごせるのかわかりませんでした。

そんな時、同じクラスのママ友に「放課後何をしているのか?」と聞くと、「なぜ次シーズンの野球を申し込んでいないか?」と逆に聞かれました。私は、まずスポーツをやるのが前提の会話に面食らいました。現地校のあるMemorialエリアでは、Pre Kinderくらいから季節ごとに地域のボランティア団体や教会でスポーツを始める子供たちがたくさんいることを知りました。わが子たちは運動をしない私たち両親の影響で、スポーツ



▲6歳以下チームの試合後にコーチが一人一人の頑張りを具体的に褒めてくれ、子供達のやる気を引き出してくれます。

経験が全くありませんでしたが、学校の友達がやっているという一点でわが子供を説得し、この5月にSchool Districtのサッカーチームに登録してみました。登録して4ヶ月後、現地校や近所のフィールドで練習が始まりました。フィールドに行くとき、そこには男女共に大勢の学校の友達がサッカーやフットボール、ソフトボールをしています。まるで日本の中学校の部活のように学校生活の延長線上でスポーツを楽しんでおり、「みんなここにいたのね…」と思いました。

いくつかの試合が重なる時は100人くらいの子供達が集まり、保護者の大歓声の中、熱戦が繰り広げられます。練習試合では、相手チームも自分のチームもその多くが同じ学校の友達同士で、まるで運動会のような盛り上がりです。保護者たちは送迎や差し入れの買い出しなど協力し合い、チームを応援します。初心者で最初はやる気もなかったわが子供でしたが、週3、4日放課後や土曜日に練習、試合を重ねていくことで、少しずつチームに貢献できるようになりました。学校の昼休みも放課後も一緒に練習したり、遊んだりしていくうちに、友達とどんどん仲良くなりました。

私もコーチや保護者達の早口の英語や用語が未だ聞き取れないことも多いです。わが子のやる気をなんとか引き出そうとしてくれるコーチ、名前を呼んで応援してくれる保護者達の姿に、何度も胸が熱くなりました。わが子の一生懸命な姿に声援を送り、チームに関わっているうちに自分もその一員になれた気がします。

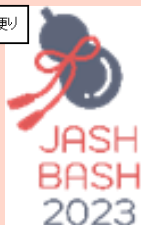
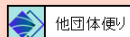
3年目に向けて

サッカーだけでなく、冬はバスケットボール、春は野球、夏は水泳など季節ごとにスポーツを始める機会があるのは、単に放課後の習い事というよりは、夏が長く、車で移動する生活の子供達にとって、体を作り、健康に過ごすための大切なきっかけであるだけでなく、何よりも子供達自身が友達との信頼関係を築き、まわりから自分が必要とされている実感を得られる素晴らしいチャンスだということがわかりました。

私は独身時代にアメリカに1年滞在した経験がありましたが、この度家族で海外生活を送る中で新たに沢山のことを知ることができました。小学生の親の視点から視野を広めることができ、子供達には感謝しかありません。彼らが共に遊ぶ仲間達との関係性が深く、広くなることで学校生活の充実度が上がっているようです。そして自分でゼロから友情を築きあげた経験と自信が今後の新しいチャレンジする気持ちに繋げられるよう、今日もフィールドで声援を送ります。



▲8-9歳チーム 長男が初めてペナルティキックを指名された時は、チームメンバーが「You can do it!」と励ましてくれ、ゴールを決めることができました。



JAPAN
AMERICA
SOCIETY OF
HOUSTON



▲ 開会の挨拶: 尾根氏 (Mitsubishi Heavy Industries America)

ヒューストン日米協会(JASH)は、ファンディングイベントであるJASH BASH 2023を10月24日(火)、Bayou Music Centerにて開催しました。当日は在ヒューストン日本国領事館の村林総領事ご夫妻をはじめ、JASHをご支援くださる企業、団体、個人、約230名の方々に臨席賜りました。

マリアッチバンド演奏に出迎えられたゲストの方々には、レセプション会場で日本酒やテキーラを味わいながら、スポンサーの方々よりご寄付頂いた日本行き航空券、ホテル宿泊券、レストランギフト券、ウイスキー等が出品されたサイレントオークション、フォトブースや版画体験などにご参加頂き、落ち着いた雰囲気でのVIPレセプション会場では、寿司、ビリヤードなどを楽しんで頂きました。

そしてディナー会場に移り、ヒューストンのトップシェフであるヒューゴ・オルテガ氏と堀内学氏による、日本料理とメキシコ料理のスペシャル・コラボレーション・ディナーを堪能頂きました。その後行われた授賞式では、日米間の経済、文化交流への多大なる貢献を称え、第6回ヒューストン-日本友好賞がボブ・ハービー・グレーターヒューストン商工会議所会頭へ、第6回ジェー・トーマス・シーファー・リーダーシップ賞がNYをベースに活躍する日系アメリカ人作家であり、シェフのキャンディス・クマイ氏へ授与されま



▲ シェフのオルテガ氏と堀内氏

した。ヒューストンの食文化における日本料理の影響力の高まりを称賛するとともに、当地域における日米の強固なビジネス関係をゲストの方々和祝うことが出来ました。当日の様子は、[当協会ウェブサイト](#)をご覧ください。

今回もヒューストン日本商工会より、多くの会員企業の方々のご臨席と共に、ご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。JASHは今後もヒューストン日本商工会との連携を密にし、ヒューストン地区での日米の文化、教育、ビジネス交流に一層貢献できるような活動を続けて参ります。引き続きご支援とご協力を何卒よろしく御願ひ申し上げます。



▲ 左より: ブラウンJASH事務局長、キーガン氏 (Mitsubishi Corporation Americas)、ハーベイ夫妻、クマイ氏、村林総領事夫妻、ドラムJASH会長夫妻

このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話を頂きます。

今月号は藤田由利子先生から大腸外科がご専門の落合健太郎先生にバトンが移りました。

第227回

大腸がん、予防に勝る治療なし

Department of Colon and Rectal Surgery,
MD Anderson Cancer Center 医師/落合健太郎



みなさん初めまして。医師の落合健太郎と申します。日本では東京大学大腸肛門外科に所属し、臨床医として勤務しておりました。現在は研究員としてMD Anderson Cancer Centerで大腸がんの外科治療に関する研究を行っております。

大腸がんの治療

大腸がんの治療についてお話ししたいと思います。大腸がんは日本でも世界でも最も多いがんのひとつで、日本ではがんの部位別の罹患数は第一位、死亡数は第二位と報告されています。初期の段階で見つかったものは内視鏡で切除することができます(いわゆるポリープ切除など)、症状の出にくいがんなので、ある程度進行してから見つかることも多く、この場合手術が必要となります。手術は従来の開腹手術に加え、傷の小さな腹腔鏡手術が急速に普及し、今ではほとんどの施設で腹腔鏡手術を受けることができます。また、最近では手術支援ロボットを用いた手術も行われます。多関節アームによる精密な操作や、立体内視鏡による三次元の視野などの利点があり、日本では消化器の手術に対しては数年前から直腸手術に、昨年からは結腸手術に保険適用となり、今後ますます普及していくと思われれますが、もともと米国発の技術であり、米国では日本とは比較にならないほど普及が進んでいます。

さて、大腸がんの治療の中心となる手術には、リスクも伴います。特に、腫瘍が肛門に近い直腸がんでは、手術により人工肛門が必要となることがあります。そうでなくても、手術により肛門機能が低下し下痢をしたり、逆に便秘になったり、生活の質の低下に苦しむ方も少なくありません。また、骨盤の中、直腸のすぐそばには血管や自律神経が複雑に入り組んでおり、手術操作に伴い自律神経がダメージを受け、術後に排尿障害を起こしたり、勃起・射精障害などの性機能障害を起こしたりすることもあります。特に最近では若い大腸がん患者さんが増えており、術後の機能障害は大きな問題となります。そこで近年注目されているのが、直腸癌の非手術治療(Watch and Wait strategy)と呼ばれる治療法です。

手術だけじゃない直腸癌に対するWatch and Wait strategy

直腸がんの治療では、手術と化学放射線療法を組み合わせる(集学的治療)ことで手術後の局所再発率が低下することが知られており、欧米で

は古くからこの集学的治療が標準治療として行われてきました。手術の前に化学放射線療法を受けると、15-20%の患者さんで、手術後の標本ではがんが完全に消えている場合(病理学的完全奏功)があります。このような、化学放射線療法だけで癌が消えてしまった患者さんでは、手術をしなくてもよかった可能性があるわけです。そこで、内視鏡やMRIなどで完全奏功が予想される患者さんにはすぐに手術を行わず、慎重に経過を見る治療が提唱され、Watch and Waitと呼ばれています。当初は「がん患者に手術をしない」ことに対する賛否がありましたが、多くの研究によって安全性や妥当性が示され、欧米を中心に普及が進んでいます。最近では化学放射線療法に全身化学療法(抗がん剤)を組み合わせることで、治療を受けた約半数の患者さんが手術を回避できた、という報告もあるほどです。当然、治療の効き目は個人差があり、全員がWatch and Waitできるわけではなく、またWatch and Wait中に微小な残存腫瘍が大きくなってきて後に手術が必要となる患者さんもいるため、経験豊富な施設でのみ行われますが、うまくいけば手術をしなくて済むわけですから、患者さんにとってのインパクトは大変大きいです。日本では伝統的に手術治療に重きが置かれ(外科医の技術が高いということもあります)、集学的治療やWatch and Waitはまだ限られた施設でしか行われていません。他方、米国ではガイドラインにも選択肢の一つとして記載されており、全米トップ施設の一つであるMD Anderson Cancer Centerでも日々多くの患者さんにこの治療が行われています。そのため豊富な臨床データを有しており、これらのデータを用いて治療成績の解析などの研究を行っております。

大腸がんの予防-内視鏡のすすめ

さて、冒頭で大腸がんは最も多いがんの一つと述べましたが、実は米国では減少傾向です。これは、検診受診率の高さが最大の理由と考えられています。大腸がんはほとんどの場合、数年かけてポリープ(腺腫)から癌へと成長します。このため、ポリープの段階で発見し切除すれば、がんを未然に防ぐことができます。日本ではがん検診の受診率は高くはないと言われていますが、予防医学が重視されている米国では、大腸がん検診の受診率を高める取り組みが強化されており、大腸がんの死亡率は着実に減少しています。がん検診にはいろいろな種類がありますが、大腸がん検診、なかでも大腸内視鏡検査(大腸カメラ)は、がんによる死亡率を減少させることが科学的にも証明されており、特に40歳以上の方には受診をお勧めします。文字通り「がんになる確率とがんで死ぬ確率を減らせる検査」だからです。大腸カメラを米国で受けるか、日本で受けるかは人それぞれかと思いますが、費用に関しては、保険のカバレッジが大きな要素の一つです。米国では1回の内視鏡検査で\$2500くらいかかるようですが、アフォーダブル・ケア法(ACA)に基づき、民間保険およびメディケアは、大腸がん検査のコストをカバーすることが義務付けられています。したがって多くの場合、45歳から75歳の方は安価もしくは無料で検診を受けられるようです(保険会社にご確認ください)。日本では、人間ドック(自費)で大腸カメラを受けると、観察だけの場合で1万5千円くらい、ポリープ切除をすると3~5万円くらいです。ちなみに症状がある場合は、日本の医療保険をお持ちでしたら3割負担になります。検査の方法は日米でほぼ同じですが、麻酔方法に若干の違いがあります。米国ではほとんどの場合全身麻酔に近い状態で検査が行われますが、日本では無麻酔か、浅い鎮静下に検査が行われます。検査に対する恐怖心がハードルとなっている方は、米国で受けるか、日本で鎮静剤の使用をリクエストすると良いかもしれません。

今回は口腔外科がご専門の川邊睦記先生です。MD Andersonの同じビルの上フロアで研究をされています。同じアパートに住む先輩で、引越しまだ当初から大変お世話になっております。お子さんの小学校が同じで、子ども同士も仲良くさせていただいています。また、地元が近いという共通点もあります。

Houston Walker

早いもので今年も師走・今月のHouston Walkerはクリスマス拡大版！ジンジャーブレッドハウス作りや、くるみ割り人形などの舞台鑑賞、教会で伝統的なクリスマスを体験するなど楽しみ方はさまざま。ホリデー専門のテーマパークから、地元住民によるイルミネーションスポットまで、クリスマスイベント情報をお届けします。



■開催中 - Dec. 31

City Lights Downtown Holiday Magic@ Downtown

シュル主催、ダウントウン各所に設置されたイルミネーションがホリデームードを演出。ディスカバリーグリーンにはアイスリンクがオープンしています。サンタやプロのスケーターに会える日もあるのでチェックしてみてください。George Brown Convention Center では様々なテーマでデコレーションされた30ものクリスマスツリーがずらりと展示されます。

■開催中 - Dec. 26

River Oaks Christmas Lights Tour@ River Oaks

リバーオクスに立ち並ぶ大豪邸のイルミネーションはスケール違い！豪華絢爛な光に目を奪われ、転んでしまわないようにお気をつけ下さい。クリスマス直前は大渋滞となりますが、リバーオクスブルバードを目指してセルフガイドツアーでお楽しみください。ヒューストンで最も美しく飾られた邸宅街と言っても過言ではない？！



■開催中-Dec. 30

2023 Santa's Wonderland@ College Station

ヒューストンより北西に1時間半、サンタワンダーランドが今年もやってきます。イルミネーションに加えてヘイライド、サンタやフロスティとの写真撮影、人工雪で遊べるスノープレイグランド、アイススケート、ライブ演奏、ホリデーショッピングなど、ありとあらゆるテキサスサイズのクリスマスアトラクションが体験できます。

■開催中-Jan. 7

The Light Park@ Katy & Spring

イルミネーションもドライブスルーで楽しんでみませんか？ケイティのTyphoon Waterpark、そしてスプリングのHurricane Harbor駐車場に登場するこちらのイベントは、DJによる音楽と共に、何百万個の電飾のエレクトリカルショーを車の中から眺めます。入場料は車一台ごとに前売り29ドル。



■開催中-Jan. 7

Magical Winter Lights @ Katy Mills

今年はケイティミルズで開催されるウィンターライツ。氷、海の世界、そして宇宙や恐竜などをテーマにしたイルミネーションと色鮮やかなランタンが共演します。遊園地ゾーンもあり、エルサやマーメイドなどのキャラクターにも出会えます。入場料は大人25ドル、4歳以下は無料。カーニバルには別途チケットが必要です。

■開催中- Jan. 2

Annual Nite of Lites@ Prestonwood Forest

ヒューストン北西・プレストンウッドの住宅街で1970年代から続く地元住民たちによるクリスマスデコレーション。界隈の住宅100以上が参加し、ベストデコレーションを競います。Texas Highway249を降りてPrestonwood Forest Drive へ、セルフガイドでお楽しみ下さい。

～そのほかの1月イベント～

■Jan 14

Chevron Houston Marathon 2024@ George R. Brown Convention

ダウントウンからメモリアル、ライスを回るコースで、ハーフマラソンも行われます。オリンピック出場選考レースにもなったヒューストンマラソン。昨年は日本から新谷仁美選手が日本歴代2位という記録を残しましたね。

■Jan 15

MLK Parade Houston 2024@ Midtown

マーチンルーサーキングJr.デーのパレード。San Jacinto St. と Elgin St. を起点に学生 brass band やダンス隊がミッドタウンの街を練り歩きます。パレードはダウントウンでも同日、開催されます。

※内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。



Save the Date 2024年春のイベント

4/7

商工会・日本人会共催

ピクニック

日 時: 4月7日(日)

会 場: Oil Ranch

1/17

常任委員会 (常任委員対象)

定例講演会 (全会員対象)

日 時: 1月17日(水)

13:00 常任委員会(常任委員対象)

14:00 定例講演会(全会員対象)

会 場: United Way of Greater Houston

2/25

第576回

テキサス会ゴルフ「商工会会長杯」

日 時: 2月25日(日)

会 場: Oakhurst Golf Club



ご案内は年明けにメール配信の予定です。

By



© KUMIKO

三水会センター
ホリデー期間の休館日及び図書返却日のお知らせ

クリスマス&年末年始ホリデーシーズンに三水会センター(図書館、商工会及び補習校事務局)が下記日程で休館となります。なお、休館に伴い図書返却日も一部変更されます。

休館期間：2023年12月25日(月)～2024年1月3日(水)
貸出変更：2023年12月12日(火)～12月20日(水) 4週間の貸し出し

- ・詳細は図書館カウンター及びホームページにてご確認ください。
 - ・延滞された場合には休館日も延滞金に計上されますのでご注意ください。
- 尚、悪天候などによる図書館の急な閉館に関する情報は商工会ホームページに掲載いたしますので、各自お確かめの上、ご来館いただきますようお願い致します。

令和5年度(2023-2024)11月 商工会理事委員会 議事録

日時：2023年11月15日(水)17:00～17:30
会場：三水会センター会議室
出席者：21名
欠席者：4名

*会員消息
11月現在の会員数は、名誉会員11名、正個人会員839名(正団体会員数:113社)、準会員47名で、総会員数は897名となっている。
議事録詳細は、商工会HP「[会員専用ページ](#)」を参照。

編集後記

いよいよクリスマスシーズン、日に日に寒さも厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
寒波の恐れも出てきますので、今月号の「寒波に備えて」をご参考の上、しっかりとご準備を。いつもの水・ガソリンのストックと共に、カセットコンロのカートリッジ(日本と違って、当地では室内での使用は法律で禁止されていることはご存じでしょうか。外で使うのは良いそうですが、寒波でガスコンロが使えないときは見逃してくれるのかな...)の予備も確認しておこうと思います。水道管保護のカバーはまだあったかな。
商工会では、11月3日に六者交流会が盛大に開催されましたので、表紙にてご紹介しております。また、今月号は補習校関連のイベントも多く取り上げています。特集は「アメリカで喜ばれた日本のお土産」。年末にご帰国される方もあるかもしれません。是非、ご参考になさってください。
今年も一年ご愛顧いただき、ありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。(編集委員長 稲田徳弘)

ガルフストリームは毎月15日発行です。
編集委員および投稿募集中!
問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org
ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。
<https://www.jbahoustongulffstream.com/>

発行：ヒューストン日本商工会
発行責任者：石川隆次郎
編集委員長：稲田徳弘
構成・編集：ガルフストリーム編集委員一同

免責事項：本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。情報が古くなっていることもございます。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本誌に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認していません。ご自身の責任でご利用ください。